

平成21事業年度

決 算 報 告 書

自：平成21年4月 1日

至：平成22年3月31日

国立大学法人大阪大学

平成21年度 決算報告書

国立大学法人 大阪大学

(単位：百万円)

区 分	予算額	決算額	差 額 (決算－予算)	備 考
収 入				
運営費交付金	50,366	49,735	△ 630	(注1)
施設整備費補助金	4,969	9,553	4,584	(注2)
船舶建造費補助金	—	—	—	
補助金等収入	6,879	11,304	4,425	(注3)
国立大学財務・経営センター施設費交付金	127	122	△ 5	(注4)
自己収入	44,734	45,603	869	
授業料、入学料及び検定料収入	13,552	13,456	△ 95	(注5)
附属病院収入	28,687	28,579	△ 107	(注6)
財産処分収入	—	15	15	(注7)
雑収入	2,495	3,552	1,057	(注8)
産学連携等研究収入及び寄附金収入等	14,653	22,630	7,977	(注9)
引当金取崩	—	131	131	(注10)
長期借入金	1,944	1,943	0	
貸付回収金	—	—	—	
承継剰余金	23	23	0	
旧法人承継積立金	384	383	0	
目的積立金取崩	4,040	4,647	607	(注11)
計	128,119	146,078	17,959	
支 出				
業務費	81,983	83,029	1,046	(注12)
教育研究経費	55,632	53,059	△ 2,572	
診療経費	26,351	29,969	3,618	
一般管理費	11,909	11,550	△ 358	(注13)
施設整備費	7,040	11,619	4,579	(注14)
船舶建造費	—	—	—	
補助金等	6,879	9,995	3,116	(注15)
産学連携等研究経費及び寄附金事業費等	14,653	17,989	3,336	(注16)
貸付金	—	—	—	
長期借入金償還金	5,655	5,660	5	(注17)
計	128,119	139,845	11,726	
収入－支出	—	6,232	6,232	

○予算と決算の差異について

- (注1) 運営費交付金の予算額については1,099百万円の、決算額については468百万円の前年度よりの繰越金を含んでおります。なお、予算段階で予定していた繰越金を使用しなかったため、予算額に比して決算額が630百万円少額となっております。
- (注2) 施設整備費補助金については、予算段階で予定していなかった補正予算が交付されたことにより、予算額に比して決算額が4,584百万円多額となっております。
- (注3) 補助金等収入については、教育研究の支援を目的とした補助金及び助成金の獲得に努めたため、予算額に比して決算額が4,425百万円多額となっております。
- (注4) 国立大学財務・経営センター施設費交付金については、予算段階では予定していなかった交付額の変更があり、予算額に比して決算額が5百万円少額となっております。
- (注5) 授業料、入学料及び検定料収入については、学生の休学等の増加が主たる要因となり、予算額に比して決算額が95百万円少額となっております。
- (注6) 附属病院収入については、診療報酬明細書の返戻が増加したこと等が要因となり、予算額に比して決算額が107百万円少額となっております。
- (注7) 財産処分収入については、古紙・廃材等の廃品の分別収集の推進の結果売却収入が発生し、決算額として15百万円の収入を得ております。
- (注8) 雑収入については、科学研究費補助金等の競争的資金の獲得に努めたことが主たる要因となり、予算額に比して決算額が1,057百万円多額となっております。
- (注9) 産学連携等研究収入及び寄附金収入等については、国等からの受託研究等の獲得並びに教育研究に資する寄附金の獲得に努めたため、予算額に比して決算額が7,977百万円多額となっております。なお、決算額については4,436百万円の前年度よりの繰越金を含んでおります。
- (注10) 引当金取崩については、前事業年度末の引当金を取崩したことから、決算額として131百万円の収入を得ております。
- (注11) 目的積立金取崩については、教育研究等の質の向上及び組織運営の改善に資する環境整備に努めた結果、予算額に比して決算額が607百万円多額となっております。
- (注12) 業務費については(注8)に示した理由が主たる要因となり、予算額に比して決算額が1,046百万円多額となっております。
- (注13) 一般管理費については、人件費支出が予算段階での計画額を下回ったことが主たる要因となり、予算額に比して決算額が358百万円少額となっております。
- (注14) 施設整備費については、(注2)及び(注4)に示した理由により予算額に比して決算額が4,579百万円多額となっております。
- (注15) 補助金等については、(注3)に示した理由により予算額に比して決算額が3,116百万円多額となっております。
- (注16) 産学連携等研究経費及び寄附金事業費等については、(注9)に示した理由により予算額に比して決算額が3,336百万円多額となっております。
- (注17) 長期借入金償還金については、借入時期および返済利率が変更となったことが要因となり、予算額に比して決算額が5百万円多額となっております。